

# ひとりで悩まず、誰かに相談～あなたの街の相談パートナー 人権擁護委員をご存じですか

法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員は、地域の方等からの人権相談に応じたり、人権を尊重することの大切さについて理解を深めるための普及啓発等の活動を行っています。

## 相談活動

人から嫌がらせや差別を受けたり、人権を侵害されたりして困っている方の相談に応じます。秘密は厳守します。

**日時** 第2(木)午後1時30分～3時30分(事前予約制)

**費用** 無料 **予約・問合せ** 総務企画課人権推進係 ☎内線2271

### 区内の人権擁護委員(50音順・敬称略)

- ▶宇津井洋子 ▶小澤 清 ▶小林美奈子 ▶小林 芳雄
- ▶神 眞理子 ▶神保 秀久 ▶砂田 厚美 ▶高田 正道
- ▶松熊 貴代 ▶宮本美和子 ▶矢吹 誠



### お互いを認め合う

人権擁護委員 小林芳雄氏

東京2020オリンピック・パラリンピックが「一人ひとりが互いを認め合う(多様性と調和)」をコンセプトの一つとして開催されました。世界中の選手の活躍とともに、人種を越えて多くの感動を与えてくれたことは記憶に新しいところです。また、大会を通し、人権に対する強いメッセージが投げかけられたと思います。

人権とは誰もが持っている他の人が決して侵害してはいけない権利です。私たち人権擁護委員は、いじめや差別等の人権問題が少しでもなくなるように、「中学生人権作文コンテスト」「人権教室」等の普及啓発活動を行っています。

人権教室では、子どもたちに対して、相手の気持ちになって考える、相手を尊重する、お互いを認め合うことで人権を守ることがで

きると伝えていきます。

普及啓発活動以外には、法務局等での人権相談を行っています。昨年の人権相談件数(電話相談含む)は、全国で17万3634件、東京では1万4893件、そのうち人権擁護委員が対応したのは3853件です。私も人権擁護委員をお引き受けした時に、たくさんの方が悩み、相談をされていることに大変驚かされました。この人権週間を契機に、多くの方が人権問題で悩んでいることを皆様にご知らせいただき、人権に関わる課題に少しでも目を向けていただければと思います。

私たち人権擁護委員も日々研鑽に努め、お互いを認め合い、受け入れ、共に生きていくことができる社会を目指し尽力してまいります。

## 普及啓発活動

### 人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることを通じて、命の大切さや相手への思いやりの心を育むことを目的に実施しています。令和3年度は、瑞光小学校と尾久小学校の子どもたちが取り組みました。



▲瑞光小学校の皆さん



▲尾久小学校の皆さん

### 人権教室

人権擁護委員が小・中学校を訪問し、人権についての授業を行い、思いやりの心や人権尊重の大切さを一緒に考える取り組みを行っています。

### 全国中学生人権作文コンテスト

次代を担う中学生が、日常生活で感じた人権に関する作文を書くことを通じて、人権尊重の大切さへの理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施しています。

令和3年度の全国中学生人権作文コンテスト東京都大会では、原中学校1年・井田あずさんの「きらきら星のおじいさん」が作文委員会賞を受賞しました。

### 子どもたちの

### 人権メッセージ

小学生が、日常生活を通じて体験した人権の思いをメッセージにすることで、命の尊さについて理解を深め、人権尊重の意識を育むことを目的に実施しています。令和3年度は、荒川区代表として、瑞光小学校4年・大西考史さんの作品が選ばれました。

ぼくは、ふじいてるあきさんの「てるちゃんの顔」という本を読みました。この本を読んで、周りの人が病気でしょうがいをおつても、元気に生きている人のことをりかいて、やさしくせつしてくれるところが、とてもすてきだと思いました。

このお話は、病気で右の顔が赤くはれてしまった「てるちゃん」のお話です。てるちゃんは小学校で顔のことでいじめられ、転校します。転校した先の学校では、みんながてるちゃんのことをりかいてはげましてくれて自分に自信がつくというお話です。

ぼくは、街でしょうがいのある人が困っているところを見たことがあります。でも、ぼくはしょうがいのある人が困っているても勇気を出して助けられませんでした。他の人がその人を助けると、なんだか申し訳なく思いました。自分は不自由なく生活できているのに、しょうがいのある人はしょうがいがあるだけで差別されたり、公共の場所を便利に使えなかったりと大変な思いをしていると聞いたことがありません。そのことを思うと、心がズキンといたみます。でも、どのように声をかけていいかわかりませんでした。

ぼくは、周りの人がしょうがいのある人のことをりかいて、もし困っていたら助けてあげると、みんなが明るく、楽しい街になると思っています。

これからは、もししょうがいのある人にあつたら、やさしくあいさつしてみようと思います。そして、もし困っていそうだったら、「何か手伝うことはありますか」と声をかけ、助けられるような人になりたいです。しょうがいのある人のことをりかいて、はげましていけたらいいなと思います。

**みんな生きてるんだ**  
瑞光小学校4年 大西考史さん